

「食物アレルギー児対応について」の研修会開催について

課名 こども福祉課（グリム保育園）

全国的に乳幼児の食物アレルギー有病率が高くなり、死亡例も出てきてしまっている現実があります。市内保育園においても、さまざまなアレルギー児への適切な個別配慮が不可欠となっています。

市内保育園では、管理栄養士と保護者で面接を行い、医師、調理師、保育士が一丸となって全職員で取り組んでいます。

今回、ますます対応が複雑になっているアレルギー対策として、市内公立・私立保育園、児童館、幼稚園等の関係職員を対象に研修会を開催いたします。

記

1. 実施日時 平成26年6月5日（木） 13:00～14:30
2. 会 場 下野市保健福祉センターきらら館 研修室
3. 参加者 市内保育園等保育士・栄養士・調理師・児童館・学童保育職員等約60名
4. 内 容
 - (1) 講 演
「食物アレルギー児の対応について」
講 師 医療法人グリムこどもクリニック院長
医学博士 福田 典正氏
日本小児科学会認定専門医・日本アレルギー学会認定専門医
 - (2) 講義及び質疑応答
食物アレルギー対応児の理解と方法
エピペントレーニングキッドによる実習
質疑応答

5. 市内保育園児数とアレルギー対応児数

○下野市公私立保育園 園児数・アレルギー児数

年 度	H23	H24	H25
全 園 児 数	653	648	691
アレルギー児数	29	29	28

アレルギー対応児人数は同じようですが、内容的には、ひとりで何種類ものアレルギー対応が必要な園児がおり、全職員で慎重に対応しています。

6. その他

下野市では、栃木市の保育園白玉事件を重く受け止め、栃木市の保育手帳を参考にさせていただき、下野市保育園バージョンを作成いたしました。

「しもつけ保育ポケット」 ～保育安全マニュアル～

26年度から公立・私立保育園の保育士全員に配布し、各園で活用しています。